

令和4年

火災・救急・救助
などの活動概況



©稲沢市いなッピー
火の用心1

稲沢市消防本部

※利用上の注意

構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ず100とはならない
場合がある。

目 次

稲沢市管内概要	1
119番受信概況	2
緊急出動概況	3
訓練指導及び調査概況	5
予防概況	7

火災

火災概況	10
年別出火件数・年別損害額	11
署別出火件数・月別出火件数	12
曜日別出火件数・時間別出火件数	13
火災による死傷者数	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移	15

救急

救急概況	16
種別ごとの救急出場件数	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員	19
傷病程度別搬送人員	20
収容所要時間別搬送人員	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員	22

救助

救助概況	23
------	----

稲沢市管内概要

面積・人口・世帯数

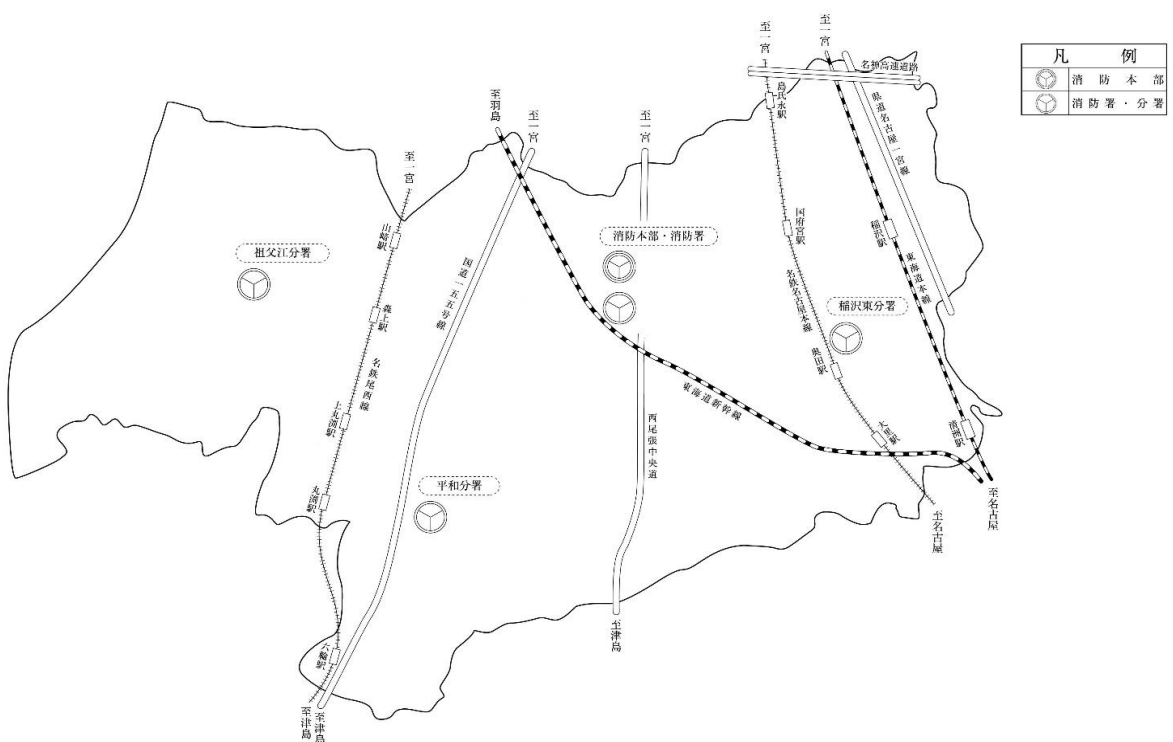
令和5年1月1日現在

区分	面積(k㎡)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲沢市	79.35	66,465	67,816	134,281	56,087

消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名称	所在地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

消防本部・消防署配置図



119番受信概況

119番受信状況は、第1表のとおり9,039件で、前年と比較して1,338件増加している。1日当たりの平均受信件数は24.8件で、前年より3.7件増加している。増加した理由としては、火災、救急、その他の件数が増加したためである。

119番受信区分では、固定電話からの119番が4,450件で49.2%、携帯電話からの119番が4,589件で50.8%となっている。

第1表 119番受信状況

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
令和2年	固定電話	19	2,973	13	1,068	4,073
	携帯電話	52	2,414	32	1,009	3,507
	合計	71	5,387	45	2,077	7,580
令和3年	固定電話	13	3,044	10	973	4,040
	携帯電話	57	2,627	60	917	3,661
	合計	70	5,671	70	1,890	7,701
令和4年	固定電話	35	3,326	14	1,075	4,450
	携帯電話	94	3,142	49	1,304	4,589
	合計	129	6,468	63	2,379	9,039

(注)「その他」は、警戒、訓練通報、間違い、病院問い合わせ等

緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり8,529件で、前年と比較して988件増加している。

1日当りの平均出動件数は約23件となっている。

また、火災、救急及び救助出動以外に1,559件の緊急出動をしている。緊急出動を種別に見ると、救急出場が6,742件(79.0%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,472件(17.3%)救助出動が120件(1.4%)の順となっている。

第1表 緊急出動状況 (件)

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率(%)
		令和3年	38	1,527	81	39	379	2,064
本署	令和4年	41	1,666	70	30	429	2,236	26.2
	令和3年	26	2,593	37	45	566	3,267	43.3
稲沢東分署	令和4年	38	3,048	32	24	611	3,753	44.0
	令和3年	18	804	8	35	167	1,032	13.7
祖父江分署	令和4年	9	965	11	18	182	1,185	13.9
	令和3年	20	906	13	27	212	1,178	15.6
平和分署	令和4年	20	1,063	7	15	250	1,355	15.9
	令和3年	102	5,830	139	146	1,324	7,541	100
比率(%)	1.4	77.3	1.8	1.9	17.6			
合計	令和4年	108	6,742	120	87	1,472	8,529	100
	比率(%)	1.3	79.0	1.4	1.0	17.3		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
- 2 「救急支援出動」とは、119番通報時の救急要請において心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、その他、救急支援隊の出動が必要と判断されたときに、消防隊を出動させるものをいう。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおりである。

火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で約123件、警戒出動は月平均で約7件出動している。

第2表 月別緊急出動状況 (件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	3	3	5	3	7	3		1	8	2	4	2	41	108
	稲沢東分署	2	3	2	3	3	3		1	9	8	3	1	38	
	祖父江分署		1	2		2		1		2	1			9	
	平和分署	1	1	4	2	1	2			4	1	2	2	20	
	小計	6	8	13	8	13	8	1	2	23	12	9	5	108	
救急	本署	125	145	137	111	124	128	164	166	126	135	139	166	1,666	6,742
	稲沢東分署	263	253	248	189	227	240	264	297	251	251	240	324	3,047	
	祖父江分署	76	96	69	68	67	67	79	104	75	72	80	112	965	
	平和分署	79	97	93	64	86	82	103	108	77	83	74	118	1,064	
	小計	543	591	547	432	504	517	610	675	529	541	533	720	6,742	
救助	本署	5	6	5	4	2	6	4	12	4	6	7	9	70	120
	稲沢東分署	2	4	1	2		2	2	5	1	4	4	5	32	
	祖父江分署	1		2					2	4		2		11	
	平和分署		1		1				2	1	1		1	7	
	小計	8	11	8	7	2	8	6	21	10	11	13	15	120	
警戒	本署	2	1	3	2	2	1		5	2	5	3	4	30	87
	稲沢東分署	2	3	5		2	1		2	1		5	3	24	
	祖父江分署	1		3	1	2	2		3	1	2	1	2	18	
	平和分署	1	2		2	4					3	3		15	
	小計	6	6	11	5	10	4	0	10	4	10	12	9	87	
救急支援	本署	38	41	38	30	31	31	42	49	21	32	34	42	429	1,472
	稲沢東分署	56	61	42	41	46	42	49	58	46	50	36	84	611	
	祖父江分署	11	32	19	8	10	8	14	17	13	14	17	19	182	
	平和分署	23	27	24	14	23	22	18	18	13	17	17	34	250	
	小計	128	161	123	93	110	103	123	142	93	113	104	179	1,472	
合計	691	777	702	545	639	640	740	850	659	687	671	928	8,529		

訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計611件、前年と比較して212件減少している。
 訓練指導については、自主防災会、事業所及び教育機関の合計173団体に対して訓練指導を実施した。

調査状況については、地理水利調査を275件実施した。

第1表 訓練指導及び調査状況

(件)

種別 署別		消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	地理水利調査	枯草調査	はしご車接梯調査	合計	比率(%)
本署	令和3年	15	6	35	13	28	11	74	1	0	183	36.8
	令和4年	29	9	39	40	40	18	61	1	1	238	39.0
稲沢東分署	令和3年	1	1	13	6	3	3	75	3	0	105	21.1
	令和4年	9	8	17	17	8	1	87	4	1	152	24.9
祖父江分署	令和3年	1	1	5	3	0	1	81	1	0	93	18.7
	令和4年	22	1	7	12	3	1	56	3	0	105	17.2
平和分署	令和3年	10	2	14	6	1	2	80	1	0	116	23.3
	令和4年	17	5	12	6	2	2	71	1	0	116	19.0
合計	令和3年	27	10	67	28	32	17	310	6	0	497	100
	比率(%)	5.4	2.0	13.5	5.6	6.4	3.4	62.4	1.2	0		
	令和4年	77	23	75	75	53	22	275	9	2	611	100
	比率(%)	12.6	3.8	12.3	12.3	8.7	3.6	45.0	1.5	0.3		

(注) 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおりである。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

(件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
消防団 訓練指導	本署				2	10	7	8	1		1			29	77
	稲沢東分署					9							9		
	祖父江分署				6	11	5						22		
	平和分署				8	5	4						17		
	小計	0	0	0	16	35	16	8	1	0	1	0	0	77	
自主防 災会 訓練指導	本署				1			1		1	3	2	1	9	23
	稲沢東分署					1				2	2	2	1	8	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署									1	1	3		5	
	小計	0	0	0	1	1	0	1	0	4	6	8	2	23	
事業所 訓練指導	本署		1	4	1	5	8	2		6	3	7	2	39	75
	稲沢東分署	2			1	1	3			1	4	3	2	17	
	祖父江分署			1			3					2	1	7	
	平和分署	1	1	1	1	1	2			1	1	1	2	12	
	小計	3	2	6	3	7	16	2	0	8	8	13	7	75	
教育機 関 訓練指導	本署	1			1	2	3	4	7	2	6	8	6	40	75
	稲沢東分署					1	1			2	3	8	2	17	
	祖父江分署						1				4	7		12	
	平和分署					1	2					3		6	
	小計	1	0	0	1	4	7	4	7	4	13	26	8	75	
普通救 命 講習会	本署	2	3	2	3	1	5	5	6	3	4	2	4	40	53
	稲沢東分署			1		2	1				2		2	8	
	祖父江分署						3							3	
	平和分署					1	1							2	
	小計	2	3	3	3	4	10	5	6	3	6	2	6	53	
消防署 見学	本署	1					1		3	1	3	5	4	18	22
	稲沢東分署					1								1	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署	1										1		2	
	小計	2	0	0	0	1	1	0	3	1	3	6	5	22	
地理水 利調 査	本署	2	7	13	4	7	6	3				12	7	61	275
	稲沢東分署	7	9	12	6	3	5	4	2	7	13	7	12	87	
	祖父江分署	4	4	6	5	3	4	3	4	4	4	8	7	56	
	平和分署	2	4	1	5	10	10		5	12	12	3	7	71	
	小計	15	24	32	20	23	25	10	11	23	29	30	33	275	
枯草 調 査	本署											1		1	9
	稲沢東分署	1	1										2	4	
	祖父江分署	2		1										3	
	平和分署												1	1	
	小計	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	9	
はしご 車 接 梯 調 査	本署			1										1	2
	稲沢東分署				1									1	
	祖父江分署													0	
	平和分署													0	
	小計	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
合計		26	30	43	45	75	75	30	28	43	66	86	64	611	

予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均11件であり、届出状況を見ると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く、1,781件（43.1%）で、次いで道路工事届出書が963件（23.3%）となっている。

なお、届出の一部は電子メールや郵送による受付を実施している。

第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	115	2.8
消 防 用 設 備 等（特 殊 消 防 用 設 備 等）設 置 届 出 書	149	3.6
消 防 用 設 備 等（特 殊 消 防 用 設 備 等）点 検 結 果 報 告 書	1,781	43.1
防 火 管 理 者 選 任（解 任）届 出 書	249	6.0
消 防 計 画 作 成（変 更）届 出 書	276	6.7
道 路 工 事 届 出 書	963	23.3
消 防 職 員 の 派 遣・指 導・消 防 訓 練 実 施 届 出 書	304	7.3
変 電・蓄 電・発 電・急 速 充 電 設 備 設 置 届 出 書	19	0.5
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	13	0.3
催 物 開 催 届 出 書	3	0.1
露 店 等 の 開 設 届 出 書	40	1.0
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	94	2.3
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	61	1.5
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	59	1.4
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	11	0.3
合 計	4,137	100

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。

第2表 区分別消防同意状況

(件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	9	11	10	3	8	3	3	10	5	8	5	7	82	73.2
増 築	3	2	3	2	4		5	3	4	2	2		30	26.8
改 築													0	0
用 途 変 更													0	0
そ の 他													0	0
合 計	12	13	13	5	12	3	8	13	9	10	7	7	112	100

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況

(件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	4	1	4	3	2	4	1	1	1	1	1	23	24.5	
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備									2			2	2.1	
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備			1									1	1.1	
	屋 外 消 火 栓 設 備				1								1	1.1	
	泡 消 火 設 備												0	0	
	粉 末 消 火 設 備												0	0	
	ガ ス 消 火 設 備												0	0	
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備												0	0	
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	5	3	3	5	2	1	2	3	1	4	1	5	35	37.2
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	3					1						4	4.3	
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備			1			1						2	2.1	
	非 常 放 送 設 備	1			1								2	2.1	
	漏 電 火 災 警 報 器												0	0	
避 難 設 備	避 難 器 具			1									1	1.1	
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	4	1	4	4	1	2	2	1	1	1	1	22	23.4	
そ の 他	消 防 用 水												0	0	
	連 結 送 水 管									1			1	1.1	
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備												0	0	
	排 煙 設 備												0	0	
合 計	17	5	14	14	5	9	5	5	4	8	1	7	94	100	

危険物製造所等は290施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は、第4表のとおりである。

第4表 危険物製造所等の許可・届出状況 (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
許 可	設 置		1	3						1				5
	変 更		8	4		1		5		11			51	80
仮 使 用 承 認			7	1						10			46	64
完 成 検 査	設 置		1	3									1	5
	変 更		8			1		5		10			42	66
予 防 規 程 認 可										6				6
軽 微 な 工 事 届				2						17			44	63
品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 変 更 届			1										2	3
保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届			17	16		1				8			11	53
廃 止 届			2			1		1						4
合 計		0	45	29	0	4	0	11	0	63	0	0	197	349

火 災 概 況

火災の状況を前年と比較すると第1表のとおり、出火件数は62件で6件増加し、建物火災及び車両火災は4件減少しているが、全体的に損害額は増加している。

火災種別ごとで見ると、その他の火災が36件で、全体の58%と最も高い割合となっている。

第1表 令和4年中の火災状況と前年との比較

区 分	単位	令和4年(A)	令和3年(B)	増減(C) (A-B)
出火件数	件	62	56	6
建物火災		24	28	△4
車両火災		2	6	△4
その他の火災		36	22	14
焼損棟数	棟	40	29	11
全焼		9	4	5
半焼		5	1	4
部分焼		3	6	△3
ぼや		23	18	5
建物焼損床面積	m ²	843	590	253
死者	人	1	0	1
負傷者		3	5	△2
り災世帯	世帯	15	40	△25
り災人員	人	31	51	△20
損害額	千円	102,770	21,743	81,027
建物火災		97,453	21,282	76,171
車両火災		4	138	△134
その他の火災		5,313	323	4,990
出火率	%	4.6	4.1	0.5

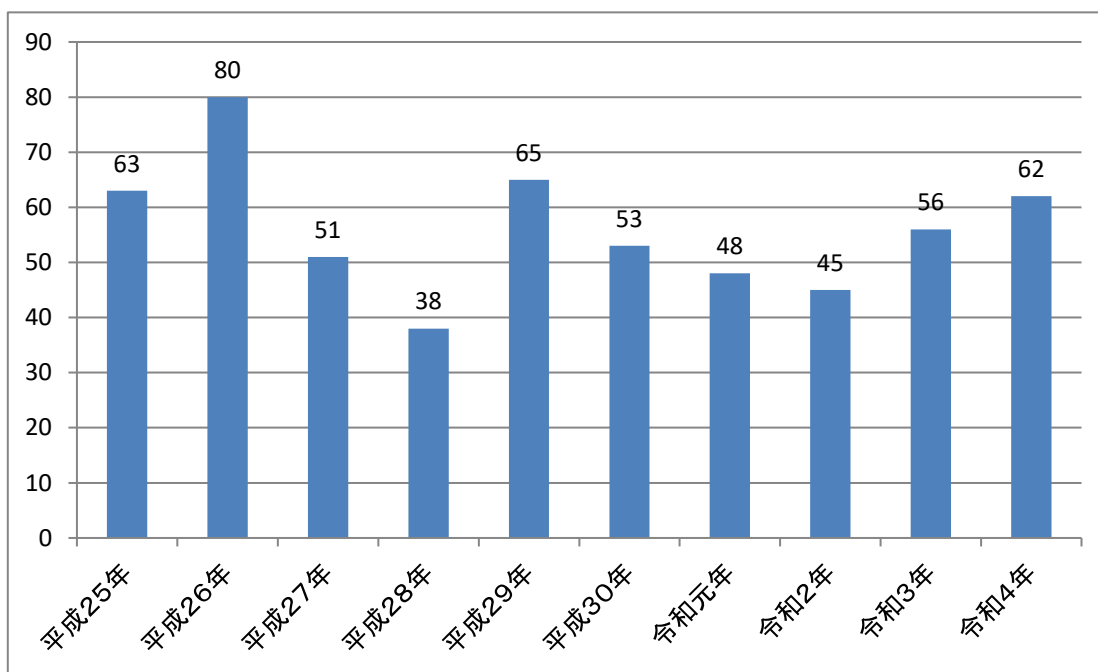
- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。
2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。

年別出火件数

過去10年間の出火件数の推移をみると第1図のとおり、平成26年の出火件数が80件と最も多くなっており、最も少ない年は平成28年で38件である。

令和4年の1日当たりの出火件数は0.17件であり、5.9日に1件の割合で火災が発生したことになる。

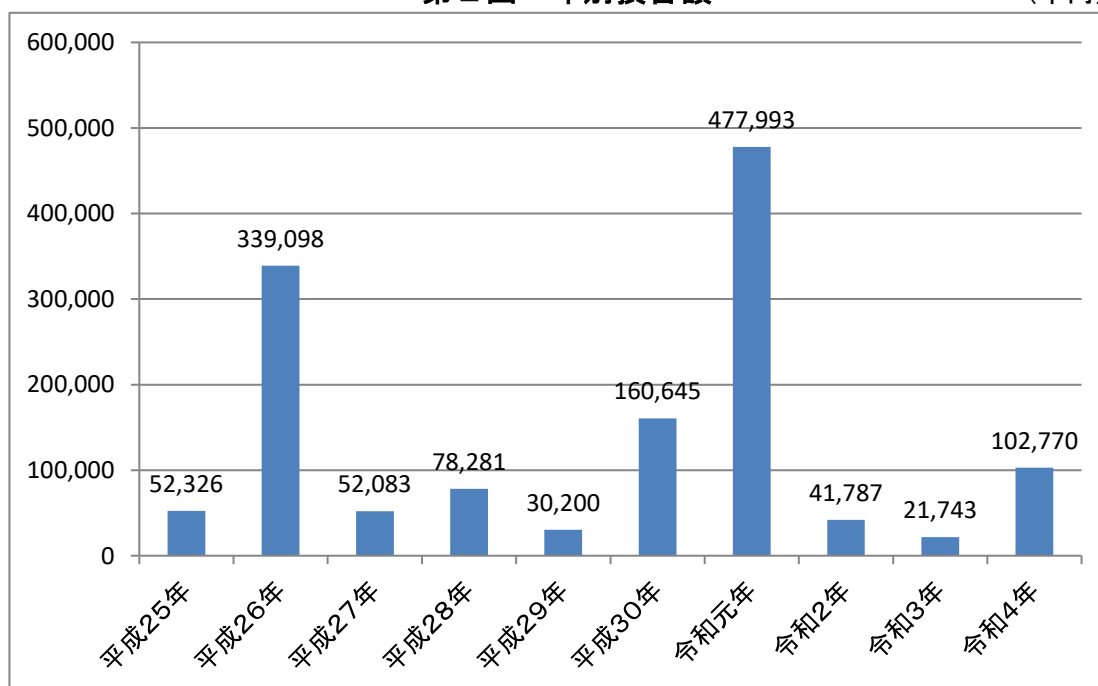
第1図 年別出火件数 (件)



年別損害額

過去10年間の損害額の推移をみると第2図のとおり、令和元年の損害額が477,993千円と最も多く、令和3年は21,743千円と最も少なくなっている。

第2図 年別損害額 (千円)



署別出火件数

出火件数の62件を署別にみると第2表のとおり、稲沢東分署が25件と最も多く、祖父江分署の4件が最も少なくなっている。

署別出火件数を前年と比較すると、稲沢東分署、本署で増加しており、合計で6件増加し、10.7%の増加率となっている。

第2表 署別出火件数前年比較

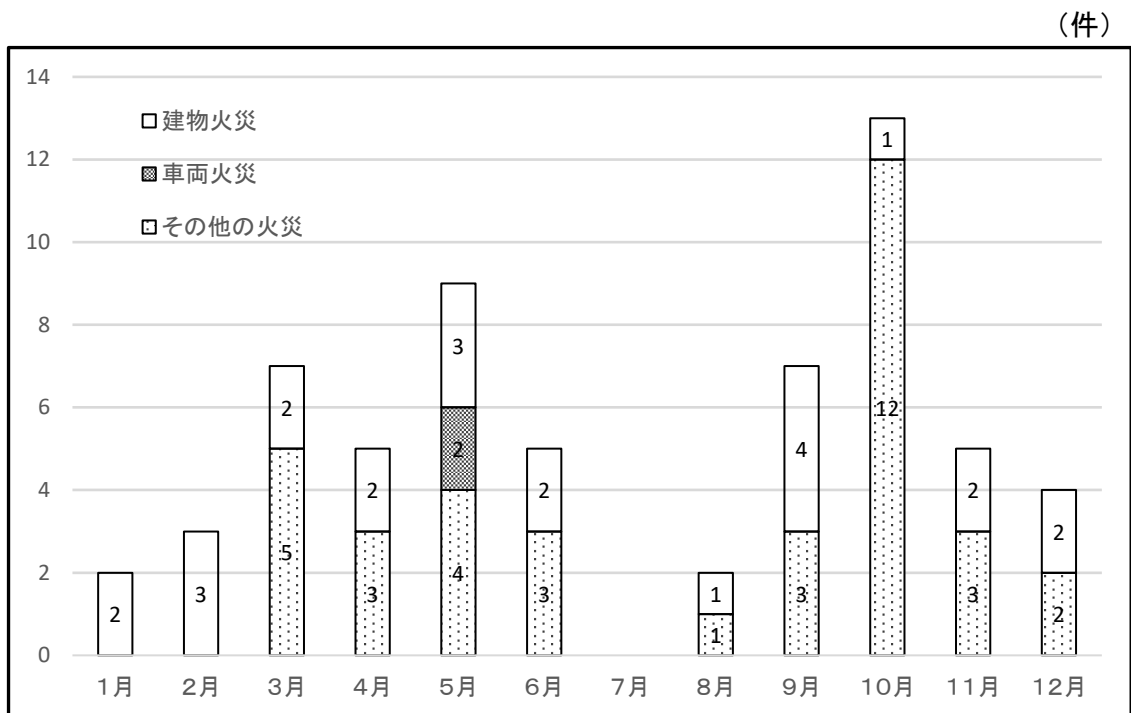
	令和4年(A) 出火件数	令和3年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	24	19	5	26.3
稲沢東分署	25	18	7	38.9
祖父江分署	4	9	△5	△55.6
平和分署	9	10	△1	△10.0
合計	62	56	6	10.7

月別出火件数

出火件数の62件を月別にみると第3図のとおり、7月は火災の発生がなく、10月が13件と最も多く発生した。

火災種別ごとにみると建物火災は9月が4件、車両火災は5月に2件、その他の火災は10月に12件と最も多く発生している。

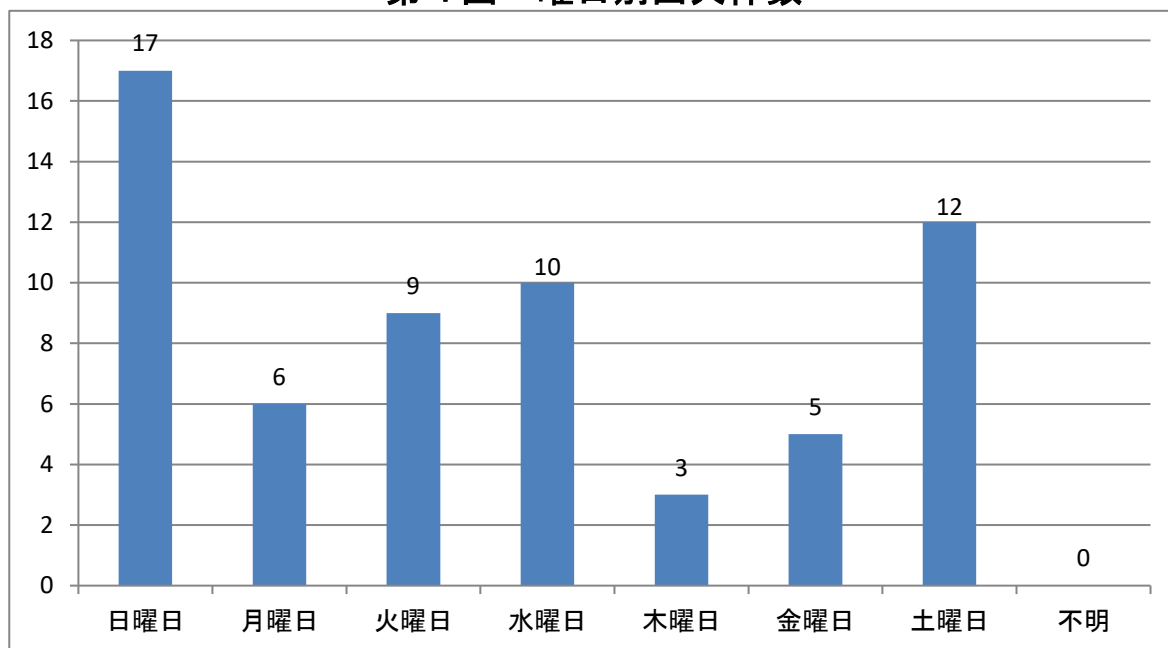
第3図 月別出火件数



曜日別出火件数

出火件数の62件を曜日別にみると第4図のとおり、日曜日が17件と最も多く発生した。

第4図 曜日別出火件数 (件)

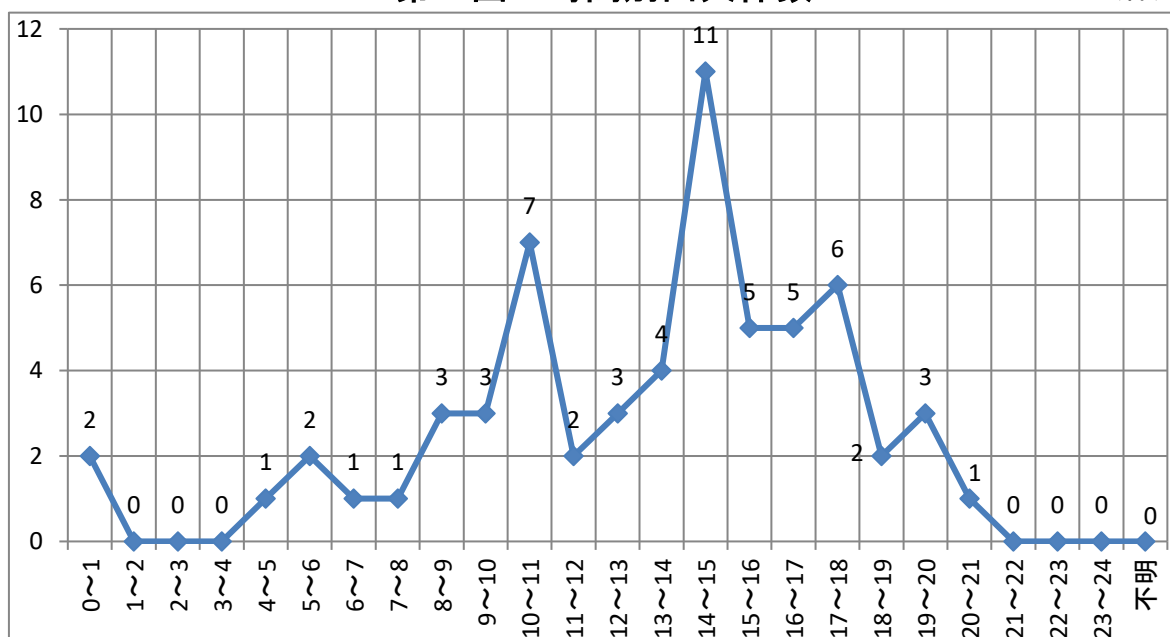


時間別出火件数

出火件数の62件を時間別にみると第5図のとおり、14時から15時までが最も多く11件発生しており、深夜から早朝にかけての時間帯は出火件数は少ない。

なお、時間不明については、火災が鎮火した後に消防に通報等があり、出火時間の特定が困難なものである。

第5図 時間別出火件数 (件)



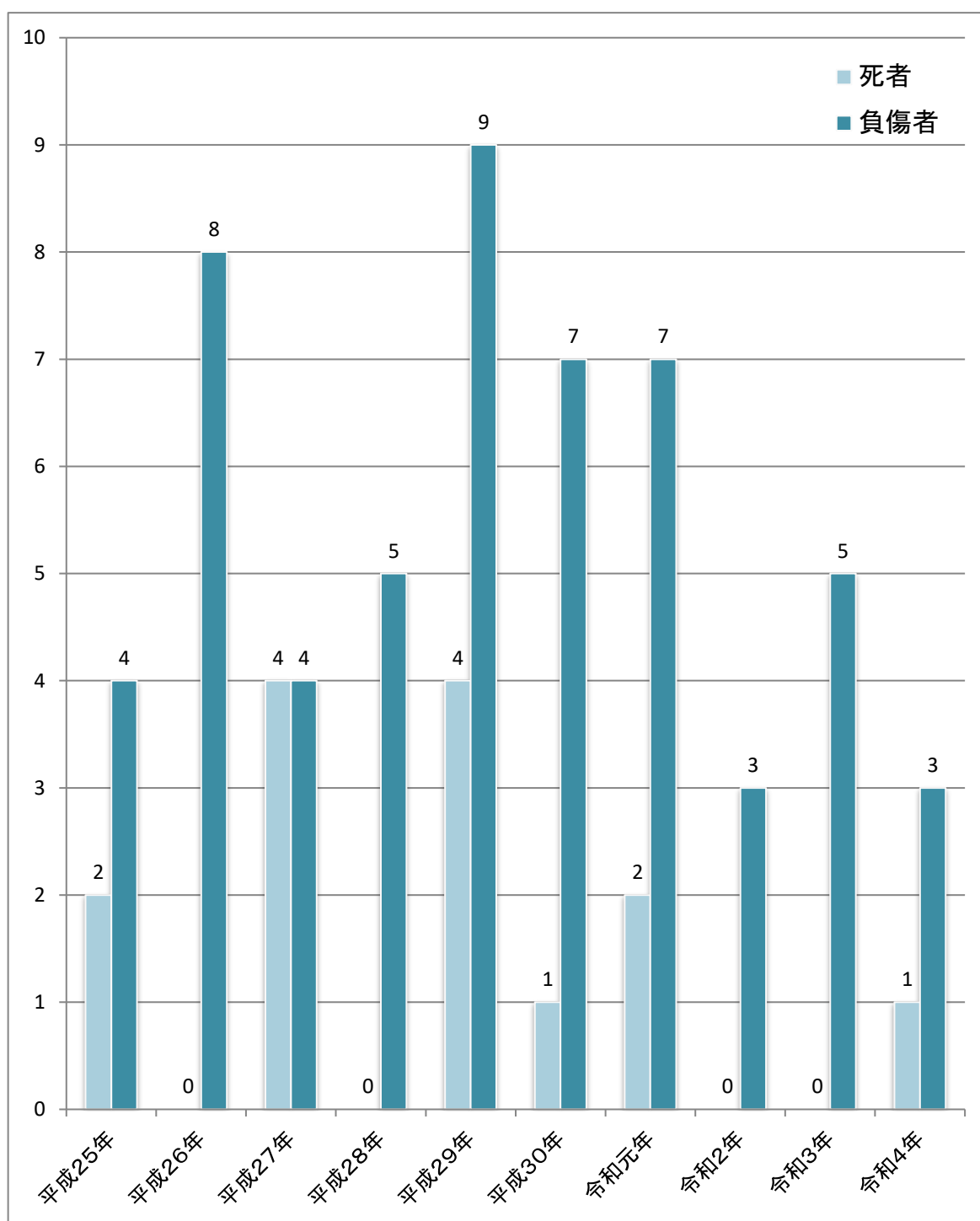
火災による死傷者数

令和4年の火災による死傷者発生状況については、死者1人、負傷者3人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は平成27年及び平成29年が4人と最も多くなっている。

負傷者数は、平成29年が9人と最も多く、次いで平成26年の8人の順となっている。

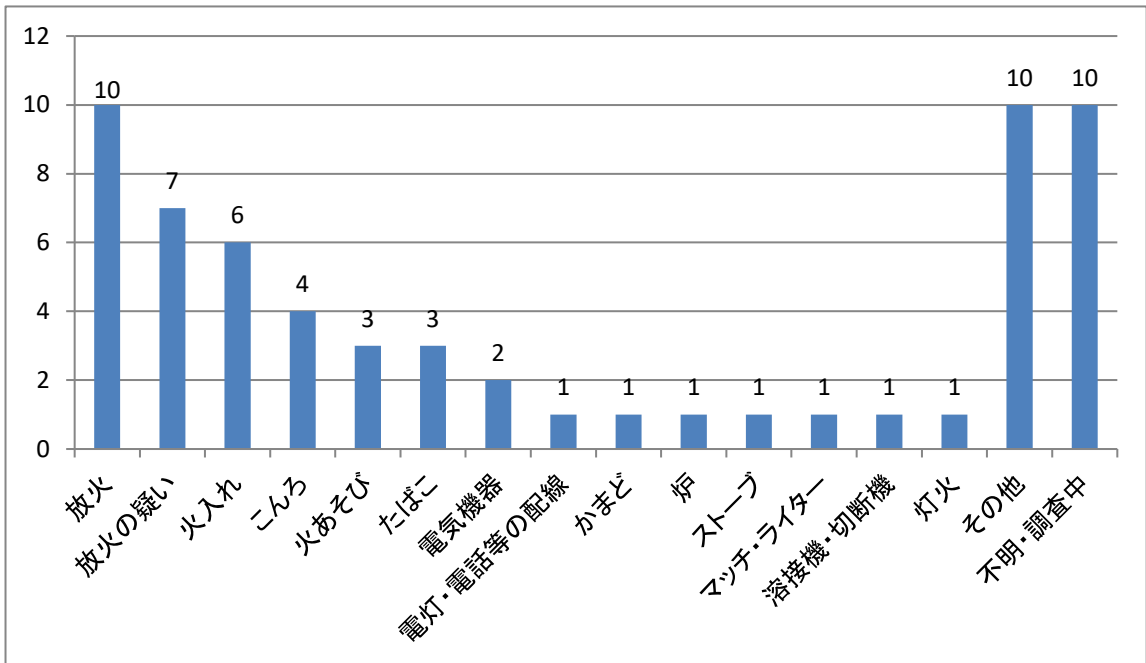
第6図 年別死傷者数 (人)



出火原因別出火件数

出火件数の62件を出火原因別にみると第7図のとおり、放火・放火の疑いによる火災が併せて17件と多く発生し、全体の約27%を占めている。

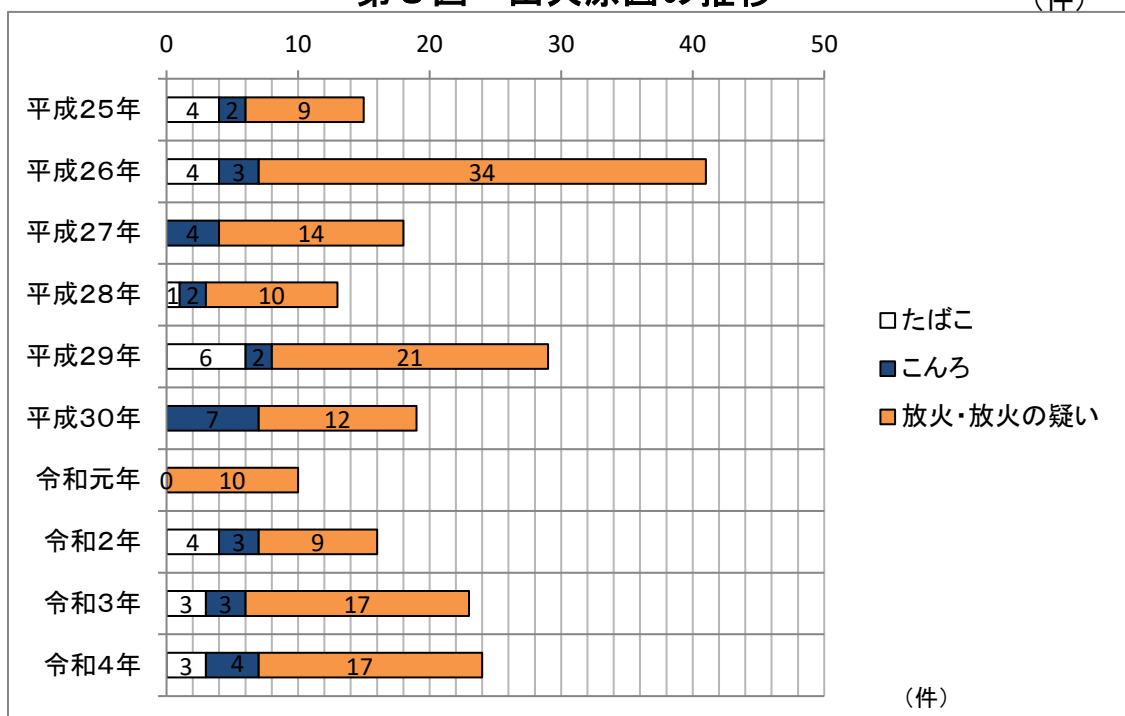
第7図 出火原因別出火件数 (件)



出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第8図のとおり、毎年、放火・放火の疑いによるものが出火原因の上位を占め、平成26年が34件と最も多く発生している。

第8図 出火原因の推移 (件)



救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は、742件で前年と比較して912件増加している。1日当りの平均出場件数は、約18件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は6,458人で前年と比較して855人増加している。

なお、当消防本部管内の住民21人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

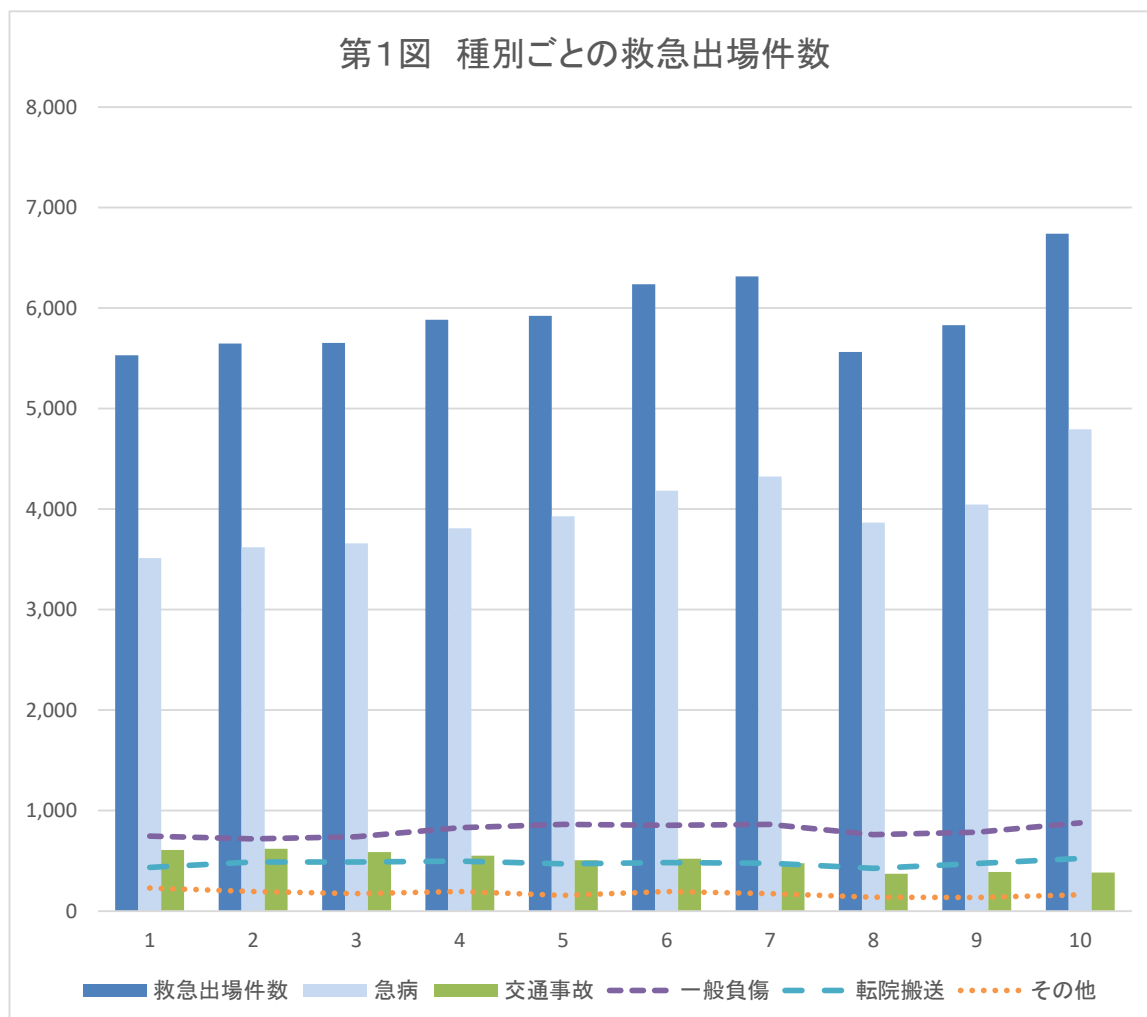
第1表 救急業務実施状況

事故種別 署別		急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	そ の 他							合 計	
						火災	水難	労働災害	運動競技	加害	自損行為	その他		
本署	令和3年	件数	1,093	113	211	66	14	1	12	1	5	11		1,527
		人員	1,042	112	207	66	4	1	11	1	5	10		1,459
	令和4年	件数	1,237	101	201	89	13	1	12	4		7	1	1,666
		人員	1,163	107	194	89	1		12	4		4	1	1,575
稲沢東分署	令和3年	件数	1,794	162	335	247	3	1	16	10	4	21		2,593
		人員	1,697	158	329	247			16	10	4	17		2,478
	令和4年	件数	2,146	173	396	256	12		28	8	9	17	3	3,048
		人員	2,041	175	390	256	1		29	8	5	8		2,913
祖父江分署	令和3年	件数	551	43	92	102		3	7	3	1	2		804
		人員	537	43	92	102			7	3	1			785
	令和4年	件数	654	43	133	113	1	1	12	5	1	1	1	965
		人員	628	42	131	113	1	1	12	5	1	1		935
平和分署	令和3年	件数	607	73	146	59	2		8	1	2	8		906
		人員	587	73	143	59			8	1	2	8		881
	令和4年	件数	756	66	148	66		1	16	4	2	4		1,063
		人員	728	69	148	65			17	4	1	3		1,035
合 計	令和3年	件数	4,045	391	784	474	19	5	43	15	12	42	0	5,830
		人員	3,863	386	771	474	4	1	42	15	12	35	0	5,603
	令和4年	件数	4,793	383	878	524	26	3	68	21	12	29	5	6,742
		人員	4,560	393	863	523	3	1	70	21	7	16	1	6,458

※「その他」は自然災害、資器材輸送及びその他の種別を含む

種別ごとの救急出場件数

過去10年間の救急出場件数を種別ごとに見ると、急病が4,793件と最も多く、次いで、一般負傷、転院搬送の順となっている。



第2表

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
救急出場件数	5,531	5,647	5,653	5,884	5,923	6,238	6,316	5,565	5,830	6,742
急病	3,514	3,621	3,661	3,810	3,928	4,184	4,323	3,867	4,045	4,793
交通事故	608	622	587	551	507	522	478	371	391	383
一般負傷	745	719	739	830	862	854	864	762	784	878
転院搬送	434	490	490	499	470	482	477	426	474	524
その他	230	195	176	194	156	196	174	139	136	164

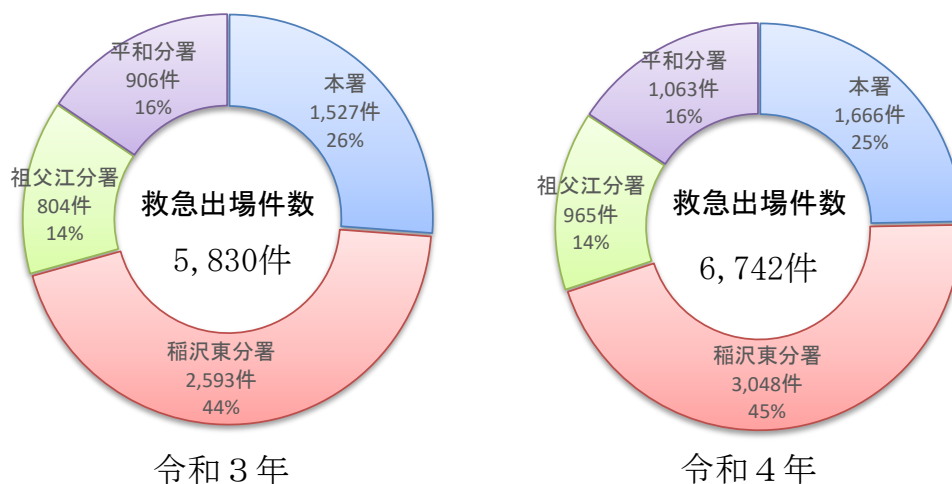
※第1図、第2表の「その他」はP16事故種別その他を参照

署別救急出場件数

救急出場件数6,742件を署別に見ると第2図のとおり稲沢東分署が3,048件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

前年と比較すると、稲沢東分署は455件、本署は139件、祖父江分署は161件、平和分署は157件の増加している。

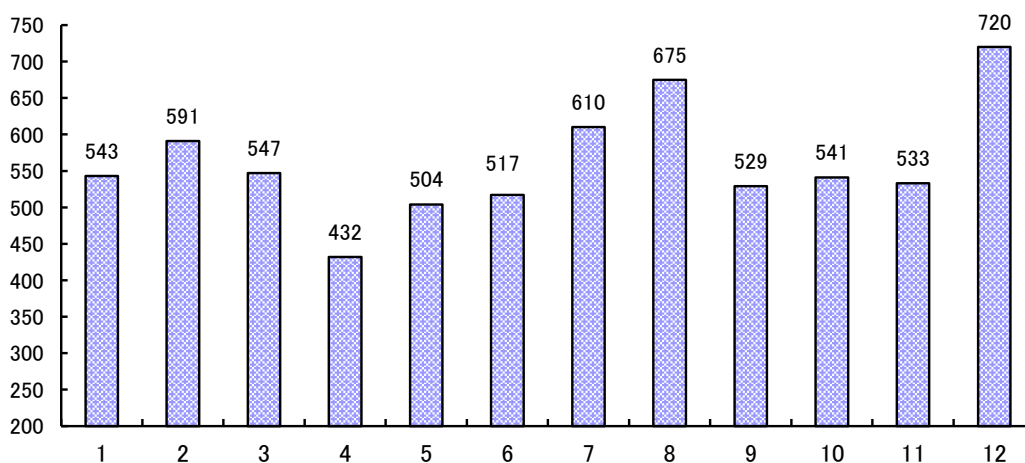
第2図 署別救急出場件数



月別救急出場件数

救急出場件数6,742件を月別に見ると、第3図のとおり、12月が720件と最も多く、次いで8月、7月の順となっている。最も少なかったのが4月の459件で、月平均にすると約562件となる。

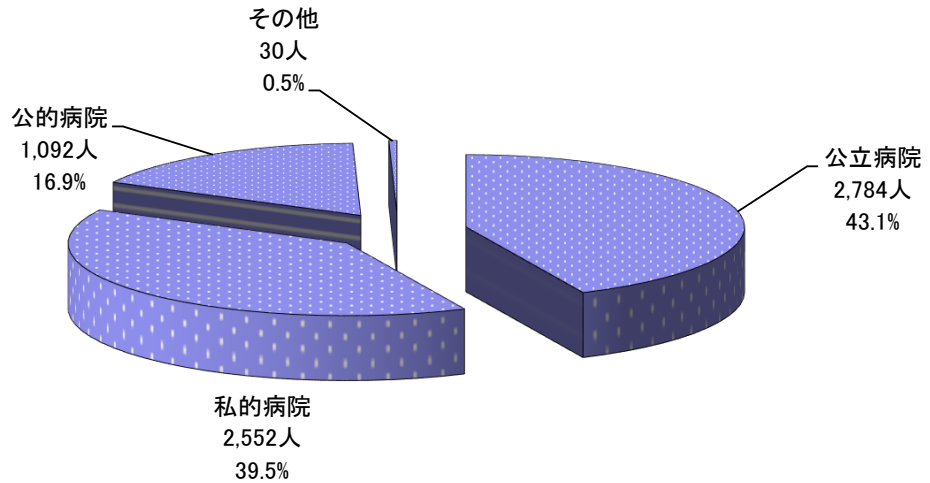
第3図 月別救急出場件数



医療機関別搬送人員

搬送された6,458人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が2,784人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。

第4図 医療機関別搬送病院

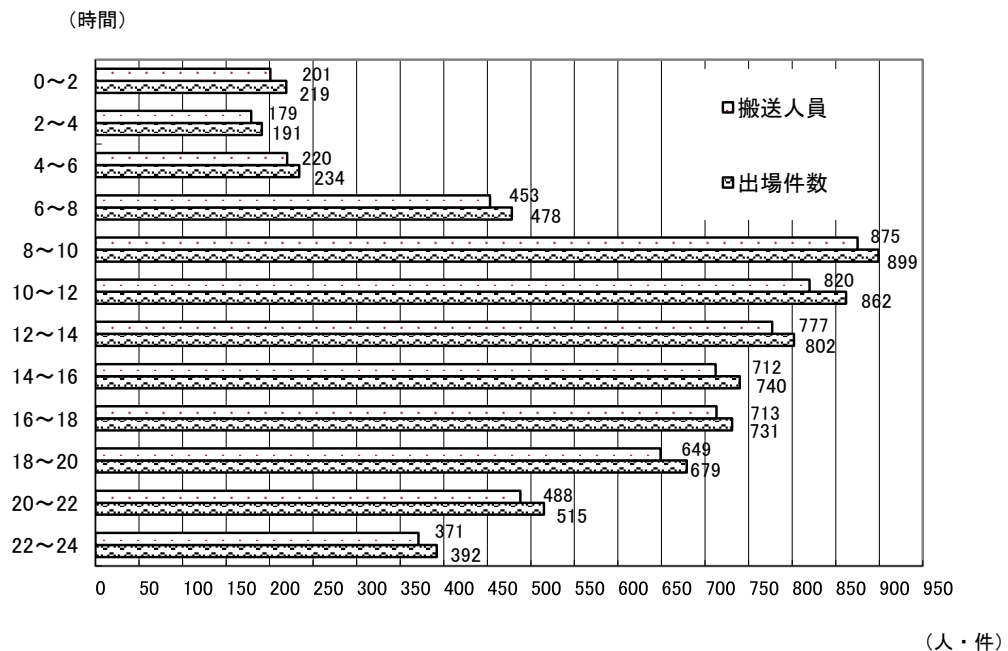


時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数6,742件及び搬送人員6,458人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は8時から10時の時間帯が899件と最も多く、次いで10時から12時と12時から14時になっており、最も少ない時間帯は2時から4時の191件となっている。

第5図 時間別救急出場件数及び搬送人員

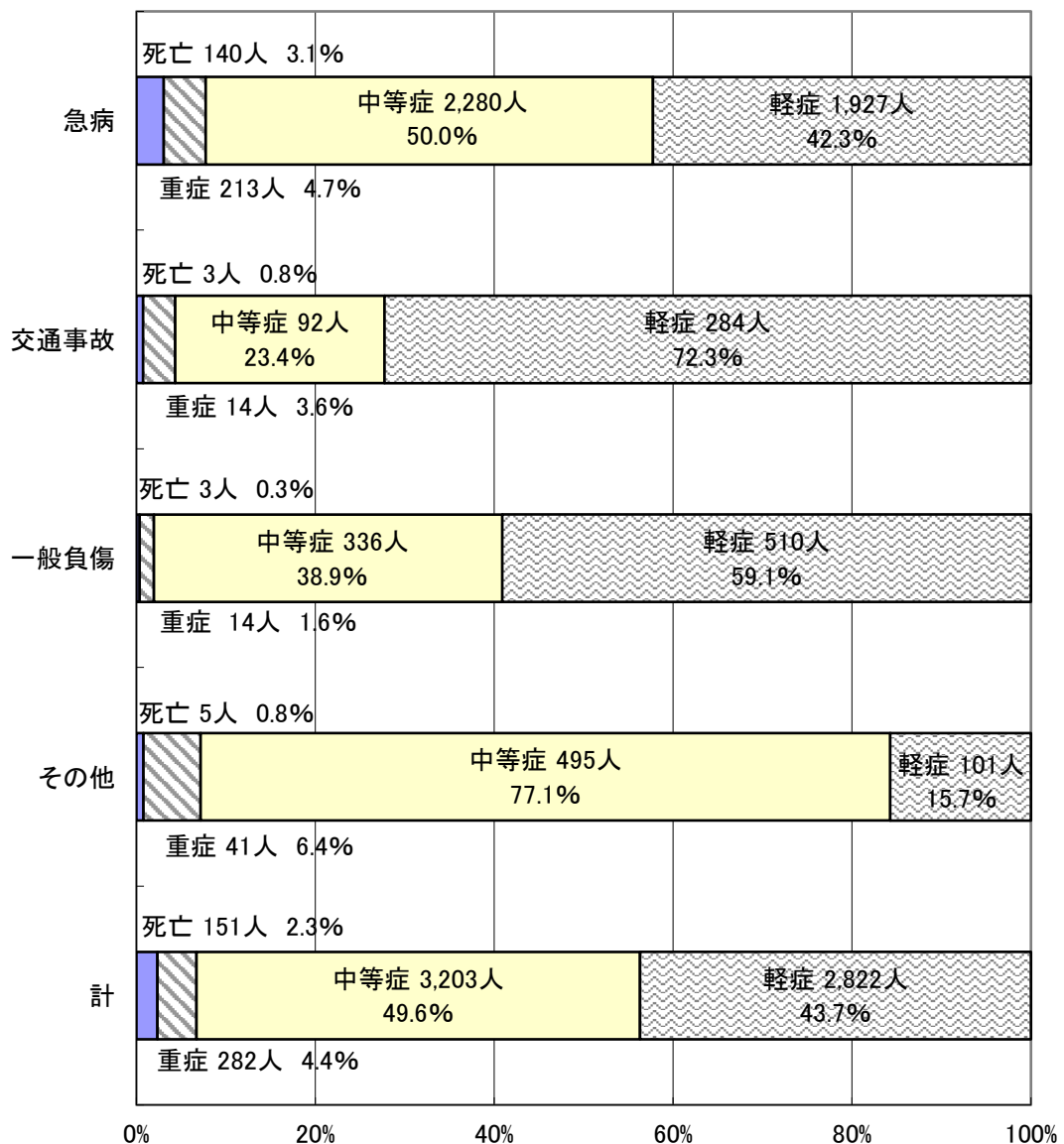


傷病程度別搬送人員

搬送人員 6,458 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、中等症が 3,203 人と最も多く、次いで、軽症、重症、死亡の順となっている。

事故種別による中等症割合は、そのほか約 77.1% と最も多く、次いで急病、一般負傷、交通事故の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

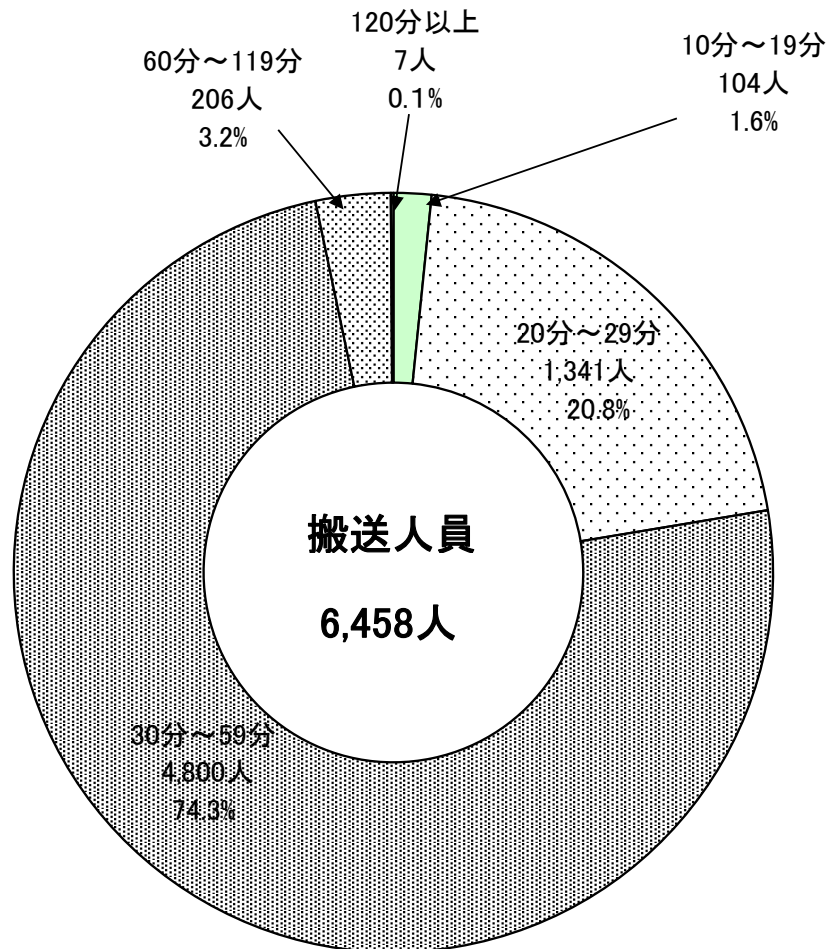


収容所要時間別搬送人員

搬送人員 6,458 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第 7 図のとおりである。

搬送人員の 1.6% が 20 分未満で病院に収容され、30 分未満になると 22.4% が収容されている。しかし、30 分以上は 77.6% であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第 7 図 収容所要時間別搬送人員の状況



曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数6,742件及び搬送人員6,458人を曜日別に見ると、第8図のとおりである。

出場件数は、月曜日が1,033件と最も多く、次いで金曜日、火曜日の順となっており、最も少ないのは日曜日の848件となっている。

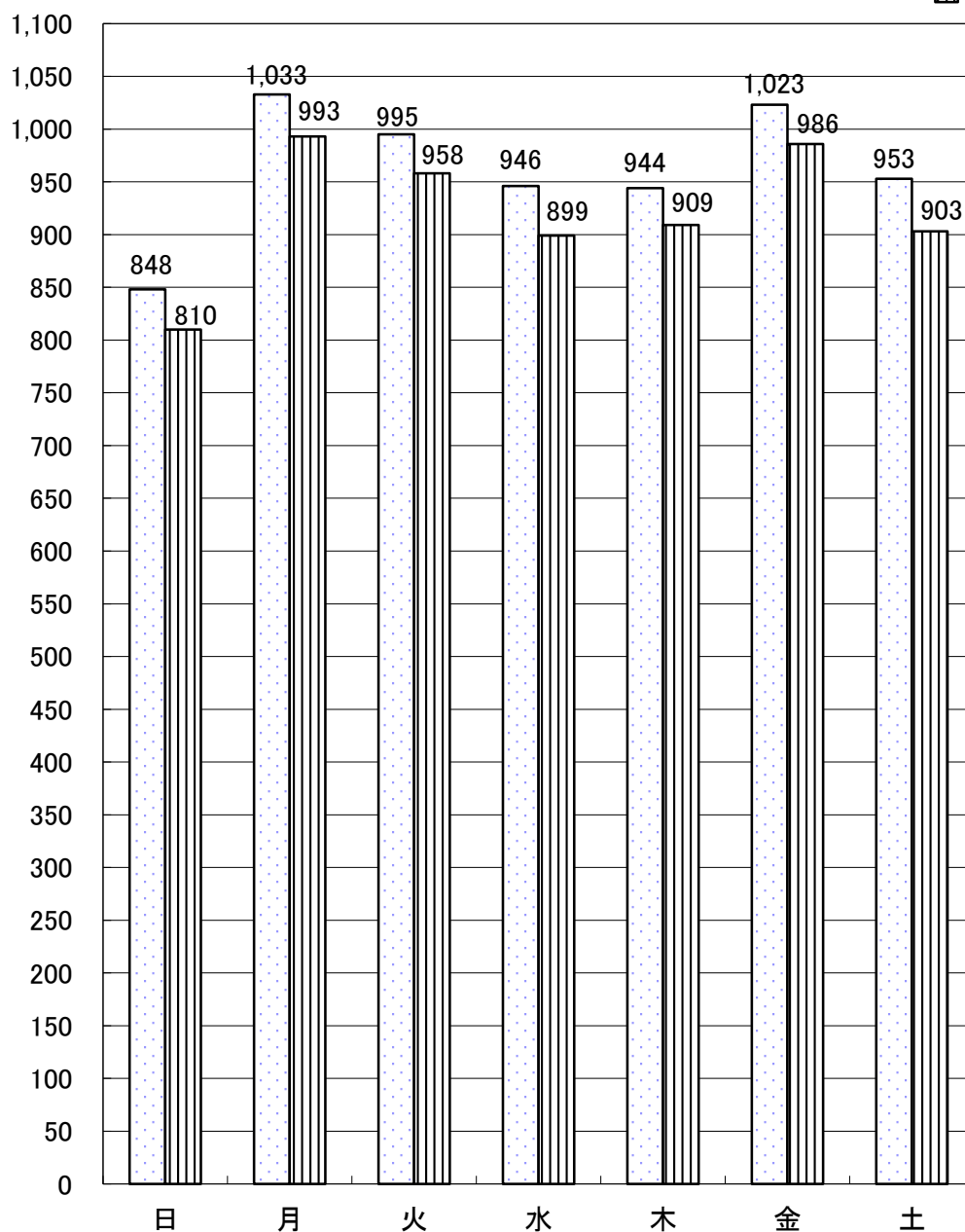
搬送人員は、月曜日が993人と最も多く、次いで金曜日、火曜日の順となっており、最も少ないのは日曜日の810人となっている。

(件・人)

第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員

□ 出場件数

▨ 搬送人員



救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は71件で、前年の82件と比較すると11件減少している。

出動件数を事故種別で見ると、その他の事故が35件（49.3%）で最も多く、次いで建物等による事故が17件（23.9%）となっている。

救助活動件数は35件であり、この活動により37人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、建物等による事故が17人で全体の45.9%を占めている。

第1表 救助出動及び活動状況

(件)

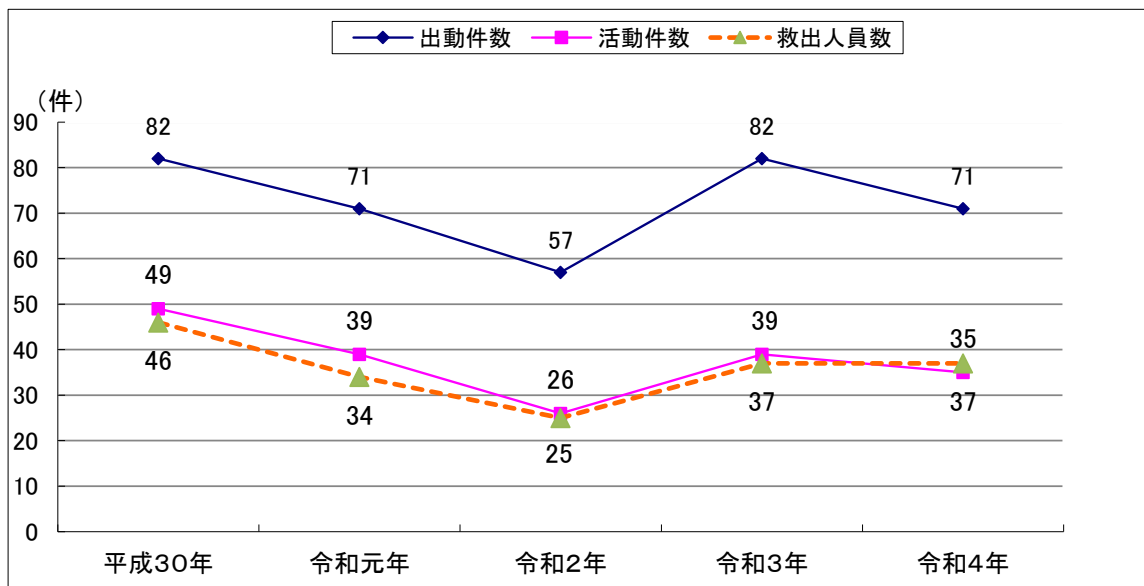
署別		事故種別	火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
本署	出動件数	令和3年	1	8	1	1	9			11	31
		令和4年		10			7			13	30
	活動件数	令和3年	1	5		1	7			2	16
		令和4年		7			7			3	17
	救出人員	令和3年	1	5		1	7			2	16
		令和4年		8			7			3	18
稲沢東分署	出動件数	令和3年		11	2		7	1		11	32
		令和4年		6		1	5			16	28
	活動件数	令和3年		4			7	1		2	14
		令和4年		2		1	4			4	11
	救出人員	令和4年		4			6	1		2	13
		令和4年		2		1	6			4	13
祖父江分署	出動件数	令和3年		1	3		2	1		1	8
		令和4年			1		3			2	6
	活動件数	令和3年			2		2			1	5
		令和4年			1		3			1	5
	救出人員	令和3年			1		2			1	4
		令和4年			1		3			1	5
平和分署	出動件数	令和3年		7			3			1	11
		令和4年			1		2			4	7
	活動件数	令和3年		2			1			1	4
		令和4年			1		1			0	2
	救出人員	令和3年		2			1			1	4
		令和4年					1				1
合計	出動件数	令和3年	1	28	6	0	29	2	0	16	82
		比率 (%)	1.2	34.1	7.3	0	35.4	2.4	0	19.5	100
		令和4年	0	16	2	1	17	0	0	35	71
		比率 (%)	0	22.5	2.8	1.4	23.9	0	0	49.3	100
	活動件数	令和3年	1	12	2	0	17	1	0	6	39
		令和4年	0	9	2	1	15	0	0	8	35
	救出人員	令和3年	1	12	1	0	16	1	0	6	37
		令和4年	0	10	1	1	17	0	0	8	37

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり平成30年及び令和3年の82件が最も多く、次いで令和元年及び令和4年の71件となっている。

救助活動件数を見ると、平成30年の49件が最も多く、次いで令和元年及び令和3年の39件となっている。

救出人員数を見ると、平成30年の46人が最も多く、次いで令和3年及び令和4年の37人となっている。

第1図 過去5年間の救助出動等の推移



救助出動した71件を署別で見ると、第2図のとおり本署が30件（42.3%）と最も多くなっている。

第2図 署別出動状況

